

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果をもとに、全学年の職員で課題を分析・考察しました。そして、後期からの本校の教育活動について、授業改善を図り、取り組んでいく内容についてお知らせいたします。

〈調査結果〉

国語

- ・日常的に使われている敬語の使い方を理解している。
- ・漢字の送り仮名などの使い方や同音異義語の使い分けなど、漢字をうまく活用できていない。
- ・説明文において、中心となる語や文を見つけ、それを活用して要約し、文章に表す力が弱い。
- ・説明文で、筆者は読者に何を伝えたいのか、筆者の主張を端的に読み取ることが苦手である。
- ・説明文において、筆者の考えと自分の考えを関わらせて、感想などにまとめる力が弱い。

【後期の国語科における重点指導】

- ・漢字の学習に関しては、活用できることを目標にして、指導していきます。そのために、学校では、**意図的に漢字を使った文章を書く学習**を設定し、**漢字を使うことを意識**できるように指導します。
- ・家庭学習では、漢字ドリルを、ノートに書く形式にして取り組むことで、漢字の力の定着を図ります。
- ・仁木小学校は、読書習慣にも課題がありますので、**読み取ったことを、自分の考えと関わらせて感想にまとめる指導**も定期的に行っていきます。
- ・説明文の単元で、筆者の文章の構成や表現の仕方の工夫を読み取らせませす。さらに、その**技法を用いて、自分の紹介文やパンフレット等の文章に取り入れ、文章を書く力を伸ば**します。

算数

- ・図形の性質についての理解が定着している。(正方形、台形)
- ・百分率で表された割合について理解している。
- ・空位のある計算を工夫して計算する力が弱い。
- ・式の構成について、説明する表現力が低い。
- ・各学年で学習する計算の決まりを活用することが苦手である。

【後期の算数科における重点指導】

- ・新単元の学習に入る前に、事前に既習内容の理解度を把握し、理解不足の内容は朝活動などで復習します。
- ・ペアや、グループ、フリーの仲間と説明し合う活動を積極的に取り入れ、自分の考えを広げたり深めたりしながら、理解を深めることができるようにします。
- ・授業の終末で本時分かったことを、文章でまとめられるようにしていきます。
- ・多様な問題に触れさせ、学んだことの習得を図るとともに、臨機応変に活用できる力を伸ばしていきます。

※裏面もご覧ください。

児童質問紙より

◎仁木小のよさ (A あてはまる・どちらかといえばあてはまる)

- ・自分にはよいところがあると思っている児童が多く、自己肯定感が高い傾向にある。(A 92%)
- ・将来の夢や目標をもっている児童が8割以上いる。(A 89%)
- ・困っている人を見かけたら、進んで助けている。(A 93%)
- ・友好関係に満足している。(A 89%)
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。(A 96%)
- ・学習でICT機器を使うことは役に立つと考えている児童が多い。また、授業中にもICTをよく使用していると実感している。(A 100%)

仁木小の課題

(B あてはまらない・どちらかといえば当てはまらない。)

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。(B 25%)
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。(B 25%)
- ・学校に行くのは楽しいと思う。(B 14%)
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。(B 20%)
- ・自分で計画を立てて家庭学習をしている。(B 32%)
- ・読書が好きである。(B 48%)
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。(B 28%)
- ・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。(B 32%)

《今後の学校教育》

- ・「明日も学校に行きたい。」と思える**授業づくりや学級活動の充実**をより一層図ります。
- ・全職員が全児童の担任であるという意識をもって、**児童理解**に努めます。また、教育相談を充実させ、不安や悩みがある児童が相談しやすい環境づくりを目指します。
- ・読書習慣が身に付くように、朝活動で落ち着いて本を読む時間を確保します。また、進んで読書に親しみ、ミニ感想文を書いたお子さんには読書賞を設けて表彰するなど、意欲化を図ります。
- ・家庭学習では、ドリル学習と並行して自主学習に取り組めるように指導していきます。

《ご家庭で大切にしていきたいこと》

- ・睡眠時間が不規則な傾向が見られます。情報機器端末の使用時間や、管理場所など約束を決めていただき、心と体の健康づくりに努めていただけるとありがたいです。